

東京カレーラボ、最大300円値下げ



6月11日

木曜日

発行所 東京カレー経済新聞社

TEL:03-5425-2900
東京タワー2階

赤字覚悟で価格に挑戦

『カレー食べて幸せになつて』

東京タワーの2階で営業するおしゃれカレーハウス「東京カレーラボ」は6月4日(木曜日)、価格改訂と新メニュー投入を実施した。値下げ幅は最大で三〇〇円となる。この不況下で値下げに踏み切る背景には、同店の強い信念があるようだ。同店はカレーを日々研究する「研究室」として営業している。今後はカレーが与える経済効果などを研究題材に更なる店舗改革に踏み切る考えだ。



カレーの総合研究所で日々美味しいカレー作りに取り組む研究員。新メニューもどんどんと開発している。おすすめは午後1時から限定販売中のオムカレー(900円)だ。(4日、東京カレーラボ)

東京カレーラボは、これまでのメニューに加え、アルコール類のドリンクも充実させる。カレーの価格改定にあわせ、ジンニックやモスコミュールなどカクテル8種類、表2を投入する。価格は一律四五〇円とお手頃価格に設定した。従来通りビール(プレミアムモルツ六〇〇円)の販売も継続する。「夜はお酒を飲みながらカレーを食べるバルのような場所にした」とカレーラボのスパイラル化を狙う。会社帰りに立ち寄り、店員と話をしながら食事をするスタイルを芝公園周辺で定着させたいと考えた。

カクテル販売を開始

東京カレーラボはこれまで、ほぼ全てのメニューが一、〇〇〇円を超えるなど、「カレーとしては高すぎるのではないかな」という意見が相次いでいた。4日以降は、オニオンチキンカレー九〇〇円、アーモンドチキンカレー九〇〇円、スパイシーポークカレー一、〇五〇円、三〇〇円値下げとなる。手軽にカレーを楽しめる価格に抑えた。ルーやご飯の量は現状を維持する方針で、値下げは赤字覚悟で望むという。近隣には安価なカレーを提供する店が多い。ライバル店と勝負するには、価格を下げていくという苦渋の選択だったようだ。

「我々のカレーを一口食べてもらえば、東京カレーラボが勝ち組である」と分かってもらえるはずだ」と強気の姿勢を見せる。ただ、同店は「クオリティー第一」の姿勢を貫いており、オシャレな店内の設計やイケメン店員

東京カレーラボ

二〇〇七年三月、東京タワー2階にオープンした。店舗のコンセプトは「カレー研究所。ガラスやステンレスを使った店内は研究室の雰囲気が漂う。これまで数多くのメニューを発表してきたおり、「おいしいカレーを食べる店」として話題を呼んでいる。東京タワーの新名所として、デート帰りのカップルや家族連れなどに人気だ。

新店員登場

タップダンサー、カレーラボに現る



イケメンをそろえる東京カレーラボに新しい店員が登場した。菲澤カズさんは色々な飲食店を渡り歩いてきた。甘いマスクと優しい物腰で人気の菲澤さんの特技は、タップダンス。実は二十代のころはプロのタップダンサーとして日本全国を渡り歩いていた。

某テレビドラマに出演した経験があるほか、今話題沸騰中のあの俳優にダンス指導をしていたことも。今もタップダンスは趣味で踊り続けている。大好きなカレー作りにも携わりたいと熱い思いをもってカレーラボに入店した菲澤さんが今後、同店の顔として活躍しようだ。タップを鑑賞しながらカレーを食べる日はそう遠くない未来かもしれない。

オレンジのバイテン ワンコインカレー人気



神谷町のオレンジのバイテンでも東京カレーラボのカレーを販売中だ。「ワンコインカレー」と称し販売する価格は五〇〇円。毎日限定10食の販売で、原則として1種類のみの販売。カレーの味は週ごとに替わる。バイテンでは連日売り切れが続いている。店長の桜本伊津美さんは「美味しいですよ。おすすめです。」と新商品を宣伝した。同店ではこれまでも日光金谷ホテルの百年カレーパイ(三二〇円)を販売しており、人気商品となっていた。

メニュー	旧価格	新価格	増減
アーモンドチキン	1,000	900	▲100
スパイシーポーク	1,200	1,050	▲150
オニオンチキン	1,000	900	▲100
アーモンドチキン +スパイシーポーク	1,400	1,100	▲300
アーモンドチキン +オニオンチキン	1,300	1,100	▲200
スパイシーポーク +オニオンチキン	1,400	1,100	▲300